

令和6年11月27日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
國吉雅和 印

一般質問通告書

第540回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 11月9日、10日の北部豪雨災害は北部5市町村では、11月21日現在家屋流出2件、床上浸水61件、床下浸水65件が確認され、河川の氾濫や土産崩れ、道路損壊が各地で発生。農林と林道被害は約10億円と発表されている。被災地の一日も早い復旧を願います。</p> <p>(1) 2014年の比謝川冠水と北部豪雨災害の雨量の比較(時間当たりと2日間の総雨量)を求める。</p> <p>(2) 村内で北部豪雨災害と同等の降雨量をもたらす場合の想定される災害を求める。</p> <p>(3) 村内に設置されている沈砂池の総件数と西海岸沿いに設置されている沈砂池件数を求める。</p>	
<p>2 人材育成について</p> <p>(1) ユンタンザむらおこし塾の塾生が立ち上げた事業である、株式会社読谷ククルリゾート沖縄と株式会社FMよみたんの開業から今日までの経緯と評価をそれぞれ求める。</p> <p>(2) 9月定例会で質問した、ノーベル平和賞を夢見る村民基金を活用した「ゆんたんざ人材ネットワークゼミ」の事業内容(回数、参加人数及び階層、講師と講演内容、費用等)と参加者の意見(声)を求める。</p> <p>(3) 「ゆんたんざ人材ネットワークゼミ」を本格事業として、事業化できない要因(理由)を求める。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>3 観光庁が推進する観光地域づくり法人「登録DMO」制度への登録について、一般社団法人読谷村観光協会と意見交換していくとの答弁(令和4年12月定例会)でした。進捗状況を求める。</p>	
<p>4 健康保険証について 12月2日から現行の健康保険証の新規発行は廃止されますが、その後は「資格確認書」が交付され引き続き現行通りの医療を受けることとなります。村民の不安を取り除くためにも、一連の詳細な説明を求める。</p> <p>(1) マイナンバーカードをもっていない人や持っても保険証としての利用登録(ひもづけ)をしていない人、即ち「マイナ保険証」を持っていない人はどのようになるのか。</p> <p>(2) 「資格確認書」は利用者が申請するのか。</p> <p>(3) マイナ保険証を持っている人が、「資格確認書」を交付されるための手続きは。</p> <p>(4) 「資格情報のお知らせ」とは。</p> <p>(5) その他、村民からの問い合わせ等の説明を求める。</p>	
<p>5 大型商業施設「コストコ」や来年開業する「ジャングリア」は交通渋滞対策が課題とされている。来年10月開店する「カインズ」の交通渋滞の懸念はないか求める。</p>	